

◆◆◆主な功績◆◆◆

【団 体】

青空時計台 殿
(柴田町)

図書室の整理や本の修繕等を主な活動とし、平成14年に柴田町立東船岡小学校図書ボランティアとして、5名で活動を開始した。平成16年からは朝自習や業間の時間に本の読み聞かせ活動にも取り組む。メンバーは入れ替わっているが、現在も週1回の本の読み聞かせと学校司書の補助等を行っており、活動18年目を迎えている。柴田町協働教育推進事業「しばたっ子応援団(学校支援ボランティア)」にも登録し、町内各小学校で給食ボランティアやミシンボランティア、昔の遊びボランティア等、学校と地域の協働活動に大きく貢献している。

多賀城小・多賀城八幡小
放課後子ども教室 殿
(多賀城市)

多賀城小学校放課後子ども教室は、子供たちの安全で安心な居場所作りを目的とし、約100名の児童が在籍している。運営には、地域住民が積極的に参画している。放課後児童クラブとの連携により、ニュースポーツや勾玉づくりなどの合同イベントも開催しており、放課後子ども総合プランのモデル教室となっている。

多賀城八幡小学校放課後子ども教室は、震災により生活環境が大きく変化した子供たちのために、家族のような対応で学びや遊びの場を提供してきた。震災年の活動日は84日に及び、教室運営の成果が大いに認められた。その翌年には登録児童数が100名を超え、その後も安定した運営を続けている。現在も、学校に占める登録児童数の割合は市内一である。

白鷺太鼓鶯鳴会 殿
(栗原市)

昭和58年から鶯沢地区の伝統芸能「白鷺太鼓」の継承活動に取り組む。平成4年から鶯沢小学校で指導を継続して行っている。児童は演目「宮城」を自校の学芸会や栗原市小学校音楽祭で発表したり、「うぐいすの里夏まつり」、「鶯沢地区芸能祭」や「ぶなの木交流会」等の地区行事で披露したりするなど、地域社会の活性化につながっている。地域の伝統芸能の継承はもちろんのこと、子供たちに地域文化の魅力を伝えるとともに、ふるさとへの愛着を醸成し、地域文化の振興に寄与している。

古川第三小学校
協働教育推進運営委員会 殿
(大崎市)

平成26年度に地域全体で子供を育む体制を整えることをねらいとして発足した。学校・地域・行政が連携・協働して、古川第三小学校の教育活動の充実に努めている。主に学校支援活動を活発に行っているほか、毎月1回の「コーディネーター会議」を実施して情報や諸課題を共有し、学校・地域・行政の三者がそれぞれの特性を生かして役割を担い、活動している。毎年開催してきた「あすなろキッズフェスティバル」は、昔遊びをとおして世代間交流を促すとともに、参加団体間の連携を促進してコミュニケーションを深め、学校を核とした地域づくりに大きく貢献している。

泊浜契約会 殿
(南三陸町)

契約講は、生活互助(協働)を目的として、集落内の戸主で構成・設立された自治組織であり、当該契約講は、「大契約」「中契約」「正契約」「尾崎講」「新契約」「平成会」で構成されている。地元の主な生業である漁業等について学校に協力し、子供たちを指導してきた。ワカメ養殖(種はさみ)の体験学習協力から始まり、毎年夏休み前の地域内の海水浴場清掃、さらにその海水浴場を利用しての地引き網等の体験学習への協力は、平成11年から始まり、東日本大震災のあった平成23年度を除き、現在まで22年間続いている。地域と学校の協働活動に欠かせない存在である。

【個 人】

持田 忠彦 様
(柴田町)
学校支援ボランティア

平成19年度から令和元年度まで登下校サポーターとして船岡小学校児童の登下校時の見守り活動を行ってきた。また、平成27年度からは柴田町教育委員会のしばたっ子応援団(学校支援ボランティア)の「登山学習補助」に登録し、町内小学校で行われている登山学習の補助を行ってきた。「蔵王自然の家登山ボランティア」や「宮城蔵王ガイド協会会員」で培った登山スキルと経験、山野草等の豊富な知識を生かし、児童生徒の安全を最優先に豊かな自然体験を提供するなど、長年にわたって学校支援に取り組んできた功績は大きい。

村上 新一 様
(蔵王町)
学校支援ボランティア

平成4年から地区の子ども会育成会活動に取り組み、青少年育成推進指導員活動など、蔵王町の社会教育活動の中心的な存在である。その豊富な知識と情熱のこもった行動力は地域住民から厚い信頼を得ている。平成24年4月1日より蔵王町協働教育プラットフォーム協議会(H29.4.1蔵王町地域学校協働活動推進協議会に名称変更)の委員となり、蔵王町の協働教育の推進に尽力した。平成26年からは蔵王町協働教育ボランティアとして、平沢小学校と円田小学校での読み聞かせや遠刈田中学校での人権教室などの活動を行い、地域の協働教育に大きく貢献している。

瀬野尾 千恵 様
(松島町)
地域コーディネーター

平成26年度から松島町の地域コーディネーターを務め、自らの教職経験や幅広い人脈を生かして町内小・中学校の教育活動の支援を行ってきた。特に中学校のキャリア教育において、町内数多くの事業所等と学校の間をコーディネートし、多数の講師派遣を実現してきた。また、平成30年度に設立された「まつしま放課後子ども教室」のコーディネーターも担い、放課後子ども教室の立ち上げから運営に至るまで中心となって活動している。その他、学び支援事業スタッフ・読み聞かせボランティアにも所属し、学校と地域との協働活動に大きく貢献している。

千坂 浩太郎 様
(大和町)
地域コーディネーター

平成24年度から宮床中学校区の地域コーディネーターとして活動に携わり、地域の人々や団体をつなぐ役割を担っている。誠実な人柄で、学校や地域住民から厚く信頼されている。各学校の特色に合わせて活動を展開し「畑の先生」としての指導のみならず、「米作り」も子供たちに指導している。さらに、地域婦人会など様々な団体と連携し、「門松作り」「しめ縄作り」などの指導も行い、体験を通して地域を知る学習を支えている。既に閉校となった難波分校を「林間教育」の場として自然観察活動や探索活動をコーディネートするなど、地域の協働教育事業推進に大きく貢献している。

宮城県教育委員会 協働教育推進功績表彰団体・個人一覧

(敬称略)

団 体	あおぞらとけいだい 青空時計台 (柴田町)
	たがじょうしょう たがじょうやわたしょう ほうかごこどもきょうしつ 多賀城小・多賀城八幡小 放課後子ども教室 (多賀城市)
	はくおうだいこおうめいかい 白鷺太鼓鶯鳴会 (栗原市)
	ふるかわだいさんしょうがっこう きょうどうきょういくすいしんうんえいいいんかい 古川第三小学校協働教育推進運営委員会 (大崎市)
とまりはまけいやくかい 泊浜契約会 (南三陸町)	
個 人	もちだ ただひこ 持田 忠彦 (柴田町)
	むらかみ しんいち 村上 新一 (蔵王町)
	せのお ちえ 瀬野尾 千恵 (松島町)
	ちさか こうたろう 千坂 浩太郎 (大和町)
	さとう なるみ 佐藤 徳美 (亶理町)
	すがわら さち 菅原 さち (栗原市)
	ふるさわ きんじ 古澤 金治 (大崎市)
	ほそだ たかはる 細田 孝春 (女川町)
おのでら やえこ 小野寺 八重子 (気仙沼市)	

佐藤 徳美 様
(亶理町)
学校支援ボランティア

家庭教育支援活動の中心的存在として町の児童生徒やその保護者への支援に尽力している。平成12年から、子育てサポーターとして活動を開始し、団体の代表を務めている。平成16年に宮城県子育てサポーターリーダーとなる。平成20年には亶理町家庭教育支援チーム「ぶらんこ」を設立。平成28年からは宮城県家庭教育支援チーム協議員となる。現在は亶理町教育委員や行政区長へと活動の幅を広げ、当町並びに当教育委員会の諸活動への支援、地域のまちづくり活動へも意欲的に取り組むなど当町の協働教育推進には欠くことができない存在である。

菅原 さち 様
(栗原市)
学校支援ボランティア

平成17年度から文字小学校と鶯沢小学校において、地域の伝統芸能「文字甚句」の指導を行い、両学校が統合となった現在も継続して行っている。この継承活動を通じて、子供たちに地域文化の魅力を伝えるとともに、ふるさとへの愛着を醸成し、地域文化の振興に寄与している。指導した児童が学習成果を自校の学芸会で発表しているほか、「鶯沢地区芸能祭」や「ぶなの木交流会」等の行事に参加してこれを披露するなど、地域社会の活性化等に貢献している。

古澤 金治 様
(大崎市)
統括コーディネーター

平成26年度から古川第三小学校協働教育推進運営委員会における統括コーディネーターとして活動している。週ごとに、地域・学校・行政と個別に打合せを実施し、毎月の「コーディネーター会議」によって、三者の情報や諸課題を共有し、それぞれの特性を生かした活動ができるように、調整をしている。また、児童の登校の見守り活動なども定期的に行うなど、1年を通じて地域の子供たちの健やかな成長、豊かな学びの実現に寄与し、地域の協働教育の振興に大きく貢献している。

細田 孝春 様
(女川町)
学校支援ボランティア

平成14年度から9年間、小学生を対象に「まなびっこ」講座の中で「デジタルカメラで楽しく撮ろう」を担当し、活動を通して子供たちの自主性や自ら学ぼうとする向上心などを育ててきた。震災後の平成24年度からは、学校、家庭、地域が連携し、教育活動を展開する女川中学校の「潮活動」で、「デジカメ教室」を担当し、技能指導や創作写真の撮影の仕方を教えている。あいさつや礼儀、子供たちの夢を育む志教育へも優れた指導力を発揮し、児童生徒の豊かな成長を育んできた。居住地とは異なるものの女川町の協働教育推進にとっては欠くことができない存在である。

小野寺 八重子 様
(気仙沼市)
学校支援ボランティア

震災前約10年間、料理を作る喜びを伝えたいと、階上小学校の児童に、地元の食材を使った調理実習の講師を務めた。震災後も地域の子供たちや大人を対象に、協働教育事業として行った料理関係の指導を快く引き受けている。ここ数年は、保育園児に「ずんだ団子」や「グラタン」「スープ」の作り方、高校生に郷土料理である「さんまのすり身汁」や「牡蠣ご飯」「ワカメの酢の物」などの指導を行っている。体験を通して料理の楽しさを伝えるとともにふるさとのすばらしさを実感させる活動につなげ、協働教育の推進に多大なる貢献を果たしている。